

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 新型コロナウイルス感染症

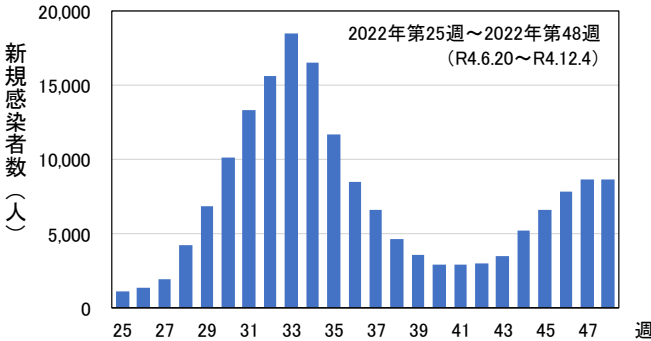
第48週に8,686件の報告がありました。新規感染者数は前週から横ばいですが、年末に向けて人と人との接触機会が増えたり、寒さで換気が不十分になるなど、感染者増加の要因が重なるため注意が必要です。

また、広島県は確保病床数を、通常医療を一部制限する「緊急フェーズ1」(776床)に引き上げました。マスク着用、手洗い、ゼロ密、換気など基本的な感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】新型コロナウイルス感染症における 県対処方針の改正等について【令和4年12月2日会見】(広島県)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20221202.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



2 感染性胃腸炎

定点当たり4.90人の報告があり、増加傾向で推移しています。(次ページ参照)

3 つつが虫病

2件の報告があり、今年の累計は10件となりました。つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に吸着されることで感染します。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンなどを着用し、ダニ類の付着を防ぎましょう。また、ツツガムシの幼虫は0.2～0.3mmと小さく見えづらいため、帰宅後はすぐに入浴して身体をよく洗い、衣服も洗濯しましょう。

定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	1	0.03	2.24		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.10	0.03	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.43	0.42			RSウイルス感染症	3	0.14	0.40	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.29	2.05		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	103	4.90	5.40	⇒		流行性角結膜炎	-	-	0.45	
	水痘	2	0.10	0.29		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.10	1.14			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.18			マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
	突発性発しん	3	0.14	0.33			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.14	0.27			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	118	70歳代
4	つつが虫病	2	10	70歳代、70歳代・市外
4	レジオネラ症	1	30	60歳代
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	60歳代
5	梅毒	3	295	30歳代・3人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイルス 感染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	広島市	第44週	-	2	19	63	-	12	1	3	9	3	7	-	1	-	-	-	-
		第45週	1	2	27	76	-	7	-	5	4	-	5	-	4	-	-	-	-
		第46週	-	3	15	84	1	6	-	5	3	1	1	-	2	-	-	-	-
		第47週	-	2	10	103	2	4	1	2	9	2	2	-	2	-	-	-	-
		第48週	1	9	6	103	2	2	-	3	3	2	3	-	-	-	-	-	-
定点 当 た り	広島市	第44週	-	0.09	0.86	2.86	-	0.55	0.05	0.14	0.41	0.14	0.32	-	0.13	-	-	-	-
		第45週	0.03	0.09	1.23	3.45	-	0.32	-	0.23	0.18	-	0.23	-	0.50	-	-	-	-
		第46週	-	0.14	0.68	3.82	0.05	0.27	-	0.23	0.14	0.05	0.05	-	0.25	-	-	-	-
		第47週	-	0.09	0.45	4.68	0.09	0.18	0.05	0.09	0.41	0.09	0.09	-	0.25	-	-	-	-
		第48週	0.03	0.43	0.29	4.90	0.10	0.10	-	0.14	0.14	0.10	0.14	-	-	-	-	-	-
全国		第46週	0.11	0.08	0.40	3.21	0.11	0.55	0.01	0.25	0.18	0.03	0.74	-	0.19	0.01	0.02	0.03	-
		第47週	0.11	0.10	0.36	3.20	0.12	0.48	0.01	0.26	0.19	0.04	0.58	-	0.19	0.01	0.01	0.01	-

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第48週(11月28日～12月4日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
1,110	1,272	1,047	1,237	1,400	1,040	572	439	566	3	8,686

【累計報告数(12月4日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

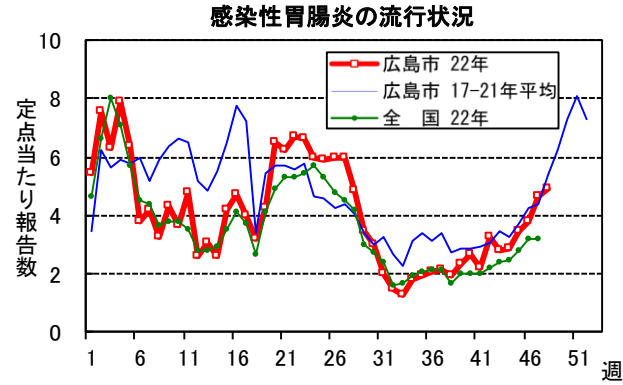
10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
36,408	39,019	39,025	40,482	41,657	27,930	15,246	11,276	9,735	372	261,150

新型コロナウイルス感染症の相談窓口
コールセンター(積極ガードダイヤル) TEL:082-241-4566
全日24時間対応

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

【参考】感染性胃腸炎の予防について

冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。感染性胃腸炎を起こすウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれており、飛沫や人の手などを介して経口感染します。保育園や幼稚園、福祉施設など集団生活の場では、感染が広がりやすく、特に注意が必要です。



【予防のポイント】

- ◆ 手洗いの励行
- ◆ 便・吐物の適切な処理 ※
- ◆ 食品の十分な加熱
- ◆ 調理器具などの消毒 ※

※ 一般の消毒用アルコールはあまり効果がありません。
次亜塩素酸ナトリウムを含む消毒液(家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤を薄めて代用可)や熱湯が有効です。

【参考】感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL: <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp